



学校だより 11月

令和5年10月31日 横浜市立芹が谷南小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>

みんなが輝いた芹南ピック2023

副校長 倉島 英治

10月21日(土)、素晴らしい秋晴れの下、「芹南ピック2023」が行われました。昨年度に比べより多くの保護者の皆様に「芹南っ子」たちの輝いている姿をご覧いただけたことを教職員一同大変うれしく思っています。当日はPTA役員の皆様、サポーターの皆様にも、運営面や片付け作業等で多大なご協力をいただきました。改めて心より感謝申し上げます。当日の「芹南っ子」たちの姿も、開会式から最後の閉会式に至るまで1日を通して大変素晴らしかったと思います。演技や競技で躍動する姿、最後まであきらめずにがんばる真剣な眼差し、達成感に満ち溢れた生き生きとした表情、そして閉会式で見られた感動の涙など、全てが最高に輝いていました。ノリノリの曲に合わせて素敵な演技を見せてくれた1、2年生。練習の段階から2年生が1年生をリードしている姿が素晴らしかったです。1年生は他学年の演技を真剣に見つめる姿も見られ、初めての運動会を楽しんでいる様子が伝わってきました。フラッグを上手に使い、掛け声が校庭に響き渡った3年生4年生の演技も見事でした。大きく旗を振る、要所要所ではしっかり止まる、など練習の時からお手本になる演技を見せてくれた4年生。「もっと踊りたい」、「もっと練習したい」、と練習の時からやる気を見せていた3年生。両学年の思いが演技にあらわれていました。5年生と6年生の演技は、キレのあるダンスとソーラン節でした。高学年になったら「あんな風に踊りたい」「お兄さんお姉さんみたいになりたい」と応援席の下学年を魅了しました。そこには高学年としての目指す姿がありました。また5年生、6年生は徒競走やリレーでの圧倒的なスピード、実行委員の主体的な仕事ぶりなど、すべてが「芹南の高学年」と感じさせる素晴らしいものでした。芹南ピックで見せてくれた姿から、半年間の子どもたちの成長を実感するとともに、子どもたちも芹南ピックの成功を通してさらに一回り成長することができた、そんな価値のある1日になったことを、大変うれしく感じます。今後も行事や様々な活動を通して、子どもたち自身が自己の成長や、友達や地域とつながることの喜びを実感できるような場面を、教職員一同でたくさん作っていきたいと考えています。

